

一般会計決算の内容

1 構成

決算は、次の6つの項目を表示しています。

項目	内容
歳入歳出決算書	歳入、歳出を「款、項」に区分し記載したものです。
歳入事項別明細書	「款、項、目、節」に区分し、歳入の具体的な内容を明示したものです。
歳出事項別明細書	「款、項、目、節」に区分し、歳出の具体的な内容を明示したものです。
実質収支に関する調書	歳入総額から歳出総額を差引いた額、実質収支額、財政調整基金への繰入額を記載したものです。
財産に関する調書	土地、建物、基金残高などを記載したものです。
市債明細書	市債の借入額、償還額、年度末残高を記載したものです。

2 各項目に係る説明

(1) 歳入歳出決算書、歳入事項別明細書、歳出事項別明細書

項目	内容
予算現額	当初予算額を基に、補正予算額や繰越額などを加減した最終の予算額です。
調定額	歳入を徴収しようとする場合に、歳入の内容（金額、歳入科目、納入義務者など）を調査し決定した額です。
収入済額	調定額のうち、実際に収入された額です。
不能欠損額	調定額のうち、時効などにより徴収できなくなった額です。
収入未済額	調定額のうち、当該年度内に収入できなかった額などです。
支出済額	予算現額のうち、実際に支出した額です。
翌年度繰越額	当該年度に事業が終了しなかったことなどにより、翌年度に繰越した額です。
不用額	予算現額のうち、執行しなかった額です。

(2) 実質収支に関する調書

項目	説明
歳入総額	歳入歳出決算書の収入済額の合計です。
歳出総額	歳入歳出決算書の支出済額の合計です。
歳入歳出差引額	歳入総額から歳出総額を差し引いた額です。
繰越明許費繰越額	当該年度に事業が終了しなかったことにより、翌年度に繰越した額です。
実質収支額	歳入歳出差引額から繰越明許費繰越額を差し引いた額です。

基金繰入額	実質収支額のうち、財政調整基金条例に基づき、財政調整基金に繰入れた額です。
-------	---------------------------------------

(3) 財産に関する調書

行政財産	行政執行の物的手段として使う財産です。 その他の行政機関のうち、その他の施設は、西出張所（サンライトホール）、鶴瀬駅西口・東口整備事務所です。 公共用財産のうち、その他の施設は、保育所、図書館、コミュニティセンターなどです。
普通財産	行政財産以外の財産です。

3 款、項の内容

歳入、歳出の款、項は、次の表のとおりです。

(1) 歳入

款	項
1 市税	1 市民税
	2 固定資産税
	3 軽自動車税
	4 市たばこ税
	5 都市計画税
2 地方譲与税	1 自動車重量譲与税
	2 地方道路譲与税
3 利子割交付金	1 利子割交付金
4 配当割交付金	1 配当割交付金
5 株式等譲渡所得割交付金	1 株式等譲渡所得割交付金
6 地方消費税交付金	1 地方消費税交付金
7 ゴルフ場利用税交付金	1 ゴルフ場利用税交付金
8 自動車取得税交付金	1 自動車取得税交付金
9 地方特例交付金	1 地方特例交付金
	2 特別交付金
10 地方交付税	1 地方交付税
11 交通安全対策特別交付金	1 交通安全対策特別交付金
12 分担金及び負担金	1 分担金
	2 負担金
13 使用料及び手数料	1 使用料
	2 手数料
14 国庫支出金	1 国庫負担金
	2 国庫補助金
	3 国庫委託金

15 県支出金	1 県負担金
	2 県補助金
	3 県委託金
16 財産収入	1 財産運用収入
	2 財産売払収入
17 寄附金	1 寄附金
18 繰入金	1 基金繰入金
19 繰越金	1 繰越金
20 諸収入	1 延滞金加算金及び過料
	2 市預金利子
	3 受託事業収入
	4 貸付金元利収入
	5 雑入
21 市債	1 市債

(2) 歳出

款	項
1 議会費	1 議会費
2 総務費	1 総務管理費
	2 徴税費
	3 戸籍住民基本台帳費
	4 選挙費
	5 統計調査費
	6 監査委員費
3 民生費	1 社会福祉費
	2 児童福祉費
	3 生活保護費
	4 災害救助費
4 衛生費	1 保健衛生費
	2 清掃費
5 労働費	1 労働諸費
6 農林水産業費	1 農業費
7 商工費	1 商工費
8 土木費	1 土木管理費
	2 道路橋梁費
	3 河川費
	4 都市計画費
	5 住宅費

9	消防費	1	消防費
10	教育費	1	教育総務費
		2	小学校費
		3	中学校費
		4	幼稚園費
		5	特別支援学校費
		6	社会教育費
		7	保健体育費
11	災害復旧費	1	公共土木施設災害復旧費
		2	文教施設災害復旧費
12	公債費	1	公債費
13	諸支出金	1	普通財産取得費
14	予備費	1	予備費